

教授昇任に係る教員選考調書

ふりがな 氏 名	ひらた えんな 平田 燕奈		
昇任時年齢			
現 職 名	准教授		
所 属	グローバル輸送科学講座 輸送社会科学教育研究分野		
最終卒業・修了 学校、学部等 (卒・修了等年月)	神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程経営学専攻		
	(2016年3月修了)		
学 位	修士（管理学）（中国東北財経大学）		
	博士（経営学）（神戸大学）		
業績	論文数	教員選考委員会審査結果数	
		論文数	39
		（うち有審査）	34
		（うち英文による第一著者）	15
	その他	WOS論文16編，うち第1著者11編	
審査分野	社会科学分野		
備 考 (教員歴：助教以上 現大学院担当)	教員歴5年7ヶ月（特命講師2年、特命准教授7ヶ月、准教授3年） 前期課程研究指導担当（Mマル合） 後期課程研究指導担当（Dマル合）		

教員個人調書（社会科学分野）

2024 年 7 月 11 日

氏 名（ふりがな）	平田 燕奈（ひらた えんな）	3cm×4cm 程度の 写真(正面脱帽)を貼 付けてください。 （昇任・大学院担当 資格審査の場合は写 真不要）
生年月日		
現 住 所		
電話番号	（携帯電話等，日中の連絡可能な電話番号を記載願います。）	
E-mail		

（学 歴）

入学・卒業（修了・取得）年月	学部・学科及び専攻名（学位・免状）
1996 年 9 月	中国東北財経大学大学院博士前期課程経営学専攻 入学
1999 年 1 月	同上 修了 修士（経営学）
2013 年 4 月	神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程経営学専攻 入学
2016 年 3 月	同上 修了 博士（経営学）

（職 歴）

異 動 年 月	所属，職名，職務内容，担当科目等
1995 年 8 月	丸紅株式会社大連支店 入社（～1996 年 7 月）
1998 年 4 月	A.P. MOLLER-MAERSK A/S 入社（2018 年 5 月よりブロックチェーン事業 アジア本部長～2019 年 8 月）
2016 年 4 月	神戸大学大学院経営学研究科 学術研究員（～2019 年 8 月）
2019 年 9 月	GTD SOLUTION INC. 戦略企画担当（非常勤）（～2020 年 10 月）
2019 年 9 月	神戸大学数理・データサイエンスセンター 特命講師（2021 年 9 月より 特命准教授） 主な担当講義科目： データサイエンス基礎（分担・全学開講科目）
2022 年 4 月	神戸大学 大学院海事科学研究科（主配置）数理・データサイエンスセンター （副配置）准教授（現在に至る） 主な担当講義科目： 国際物流論・経営学基礎論・国際交通論・国際交通特論

[1] 学会における活動

(1) 加入学会

日本海運経済学会, 正会員 (2015 年 9 月ー現在)
国際海運経済学会, 正会員 (2016 年 9 月ー現在)
アジア物流研究会, 正会員 (2019 年 1 月ー現在)
情報処理学会, 正会員 (2019 年 9 月ー現在)
人工知能学会, 正会員 (2020 年 2 月ー現在)
日本物流学会, 正会員 (2021 年 4 月ー現在)
土木学会, 正会員 (2023 年 9 月ー現在)

(2) 役員歴

日本海運経済学会, 研究委員, 2024 年 1 月ー現在に至る
Maritime Policy & Management(SSCI, Impact Factor: 3.5), 編集委員, 2022 年 6 月ー現在に至る
Port Effectiveness and Public Private Cooperation for Competitiveness (PEPP II), 国際諮問委員会
委員, 2022 年 4 月ー現在に至る
International Conference on Transportation and Logistics (T-LOG), 組織委員会委員, 2021 年 12 月
ー現在に至る
日本海運経済学会, 国際交流委員, 2021 年 10 月ー現在に至る

(3) 受 賞

1. Emerald publishing, Emerald Literati Awards 2023 Outstanding Paper, Enna Hirata, Takuma Matsuda, Uncovering the impact of COVID-19 on shipping and logistics, 2023 年 7 月.
2. Emerald publishing, Emerald Literati Awards 2022 Outstanding Paper, Enna Hirata, Maria Lambrou, Daisuke Watanabe, Blockchain technology in supply chain management: insights from machine learning algorithms, 2022 年 7 月.
3. International Conference of Asian Shipping and Logistics, Commended Paper Award, Enna Hirata, Service Characteristics and Customer Satisfaction in Container Liner Shipping Industry, 2018 年 6 月.
4. 日本海運経済学会, 国際交流賞, 平田燕奈, 村上英樹, Liner Shipping Market Contestability in Alliance Era, 2016 年 10 月.

[2] 社会における活動

1. Management Transportation and Logistics Talk Series (主催 : Universitas Brawijaya, Indonesia), ゲストスピーカー, 2024 年 6 月.
2. The International Sustainable Logistics Symposium (主催 : Toros University, Turkey), 国際科学
委員会委員, 2024 年 6 月.
3. Dutch Research Council (NWO), Applied and Engineering Sciences (AES) Domain, 書面審査員.
2024 年 4 月.
4. JBPress 第 5 回物流イノベーション, ゲストスピーカー, 2024 年 4 月.
5. Ocean Network Express, Container Shipping Summit (Nagasaki), パネリスト, 2024 年 3 月.
6. International Association of Maritime Economists (IAME) conference 2023 (Long Beach), セッシ

ョンチェア, 2023 年 9 月.

7. 第 3 回中学生・高校生データサイエンスコンテスト(主催：神戸大学数理・データサイエンスセンター), 審査委員, 2023 年 8 月.
8. 日本貿易会第 88 回物流委員会, ゲストスピーカー, 2023 年 7 月.
9. The International Sustainable Logistics Symposium (主催：Toros University, Turkey), 国際科学委員会委員, 2023 年 6 月.
10. 一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会 (JASTPRO), 貿易プラットフォーム活用による貿易手続きデジタル化推進事業者採択に係る企画競争, 審査委員長, 2023 年 5 月－7 月.
11. 経済産業省, 貿易投資促進事業費補助金等に係る企画競争, 審査委員長, 2023 年 2 月.
12. Ocean Network Express, Container Shipping Summit (Singapore), パネリスト, 2023 年 8 月.
13. 独立行政法人日本学術振興会, 特別研究員等審査会専門委員, 卓越研究員候補者選考委員会書面審査員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員, 2023 年 7 月－2024 年 6 月.
14. Logistics DX Summit 2023, ゲストスピーカー, 2023 年 3 月.
15. Department of Science and Technology (DOST), Philippines, ゲストスピーカー, 2023 年 2 月.
16. Asia-Pacific Economic Cooperation(APEC), パネリスト, 2023 年 1 月.
17. The International Conference on Neural Information Processing (2022), Program Committee Member, 2022 年 11 月.
18. 独立行政法人日本学術振興会, 特別研究員等審査会専門委員, 卓越研究員候補者選考委員会書面審査委員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員, 2022 年 7 月－2023 年 6 月.
19. Asian Logistics Round Table Conference (主催：仁荷大学校), 国際科学委員会委員, 2022 年 9 月.
20. 第 2 回中学生・高校生データサイエンスコンテスト(主催：神戸大学数理・データサイエンスセンター), 審査委員, 2022 年 8 月.
21. The International Sustainable Logistics Symposium (主催：トロス大学), 国際科学委員会委員, 2022 年 6 月.
22. Japan Society for the Promotion of Science, Japan Alumni & Researcher Assembly, ゲストスピーカー, 2022 年 3 月.
23. African Development Senior Managers Forum, ゲストスピーカー, 2022 年 1 月.
24. World of Shipping Portugal (2022), 国際科学委員会委員, 2022 年 1 月.
25. 日本船舶海洋工学会, ゲストスピーカー, 2021 年 10 月.
26. The International Sustainable Logistics Symposium (主催：トロス大学), 国際科学委員会委員・セッションチェア, 2021 年 4 月.
27. 第 1 回中学生・高校生データサイエンスコンテスト(主催：神戸大学数理・データサイエンスセンター), 審査委員, 2021 年 8 月.
28. International Joint Conference on Neural Networks (2021), Program Committee Member, 2021 年 2 月.
29. Global Data Challenge Workshop (南洋理工大学と共催), コーディネーター・ファシリテーター, 2020 年 10 月.
30. Asian Logistics Round Table Conference (主催：タスマニア大学), 国際科学委員会委員・セッションチェア, 2020 年 9 月.
31. 神戸データサイエンス操練所, ISMS 事務局員, プロジェクト管理者, 2020 年 5 月～2022 年 3 月.
32. Maritime CIO Forum Tokyo 2018, パネリスト, 2018 年 8 月.

[3] 賞 罰

該当なし

[4] 大学院における学位論文指導歴

該当なし(2022 年度に就任, 2023 年度・2024 年度入学大学院生各 1 名在籍)

[5] 代表者として得た研究費

[獲得年度 (西暦), 研究プロジェクト名, (研究費種目, 科研費の場合は課題番号/その他の場合は資金を得た機関名), 金額 (千円)]

(1) 科学研究費

2023-2025 年度, フィジカルインターネットにおける物流拠点の設計, 基盤研究(C), 23K04076, 4,680 千円

2017-2019 年度, Measuring Market Power in Container Liner Shipping Industry, 基盤研究(C), 17K03686, 1,950 千円

(2) 共同研究/受託研究/その他 (公募型研究助成)

2023 年度, フィリピンにおけるフィジカルインターネット導入ロードマップの策定に関する研究, 公募型研究助成, 神戸大学 ICHC センター・ジェンダー平等推進部門, 982 千円

2021 年度, データマイニングを用いた研究者情報連結システムの構築に関する研究 共同研究, 神戸大学学術研究推進機構, 1,000 千円

2020 年度, 利用者アンケートデータに基づく利用者満足度の分析に関する研究 共同研究, 高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社, 1,300 千円

[6] 業 績

(1) 発明・特許取得

[発明者, 特許名, 登録番号, 登録年月日 (西暦)]

1. 小澤誠一, 平田燕奈, 研究者間の類似度計算プログラム[寄与率:50%/50%]

学内整理番号: KS23-001, 2023.7.5

(2) 著書

[著者, 著書名, 担当部分 (章/頁など), 発行所, 発行年月(西暦), 学術著書/教科書等の別, ISBN]

1. ○平田 燕奈, 松田 琢磨, 渡部 大輔, 新国際物流論 基礎から DX まで, 第 1 章 第 6 章 第 8 章 第 13 章 第 14 章, 晃洋書房, 2022 年 9 月, 教科書.

ISBN 978-4-771-03672-7

2. ○Hirata, E., Watanabe, D., Lambrou, M. (2022). Shipping Digitalization and Automation for the Smart Port. In T. Bányai, Á. Bányai, I. Kaczmar (Eds.), Supply Chain - Recent Advances and New Perspectives in the Industry 4.0 Era. IntechOpen. <https://doi.org/10.5772/intechopen.102015>. Jan 2021.

ISBN 978-1-80355-372-6

3. 齋藤政彦・小澤誠一・羽森茂之・南知恵子 編, データサイエンス基礎, 1 章 (pp.1-40), 培風館, 2021 年 3 月, 教科書. (第一章執筆)
ISBN 978-4-563-01610-4
4. ○平田燕奈 著, 森隆行 編, e-Shipping—外航海運業務の電子化, 全 189p (pp.1-189), 海文堂出版, 2018 年 10 月, 学術著書.
ISBN 978-4-303-16414-0

(3) 学術論文 (有審査論文: ジャーナル)

[著者, 題目, 掲載誌, 巻 (号), 頁, 発行年月(西暦), DOI]

1. ○*Hirata, E., Watanabe, D., Chalmoukis, A., Lambrou, M. (2024). A Topic Modeling Approach to Determine Supply Chain Management Priorities Enabled by Digital Twin Technology. Sustainability, 16(9), 3552. (国際共著)
DOI: <https://www.mdpi.com/2071-1050/16/9/3552>
インパクトファクター: 3.9 被引用件数: 1
2. ○*Naganawa, H., Hirata, E., Firdausiyah, N., Thompson, R.G. (2024). Logistics Hub and Route Optimization in the Physical Internet Paradigm. Logistics 2024, 8, 37. (国際共著)
DOI: <https://doi.org/10.3390/logistics8020037>
インパクトファクター: 3.8 被引用件数: 32
3. ○*Hirata, E., Hansen, A. S. (2024). Identifying Key Issues in Integration of Autonomous Ships in Container Ports: A Machine-Learning-Based Systematic Literature Review. Logistics. 8(1), 23. (国際共著)
DOI: <https://doi.org/10.3390/logistics8010023>
インパクトファクター: 3.8 被引用件数: 1
4. ○*Hirata, E., Yamashita, T, Ozawa, S. (2023). Researcher Network Visualization using Matrix Researcher2vec. Journal of Advanced Computational Intelligence & Intelligent Informatics, 27(4), 603-608.
DOI: [10.20965/jaciii.2023.p0603](https://doi.org/10.20965/jaciii.2023.p0603)
インパクトファクター: 0.7 被引用件数: 0
5. ○Hirata, E., Matsuda, T. (2023). Examining logistics developments in post-pandemic Japan through sentiment analysis of Twitter data. Asian Transport Studies, 2023(9), 100110.
DOI: [10.1016/j.eastsj.2023.100110](https://doi.org/10.1016/j.eastsj.2023.100110)
被引用件数: 9
6. ○*Hirata, E., Matsuda, T. (2022). Forecasting Shanghai Container Freight Index: A Deep-Learning-Based Model Experiment. Journal of Marine Science and Engineering, 10(5), 593.
DOI: [10.3390/jmse10050593](https://doi.org/10.3390/jmse10050593)
インパクトファクター: 2.9 被引用件数: 9
7. ○Hirata, E., Watanabe, D., Lambrou, M. (2022). Shipping digitalization and automation for the smart port. In Supply chain—recent advances and new perspectives in the industry 4.0 era. IntechOpen.
DOI: [10.5772/intechopen.102015](https://doi.org/10.5772/intechopen.102015)
被引用件数: 14

特記事項：書籍の一章として収録されている(著書 2)

8. *Matsuda, T., Hirata, E., Kawasaki, T. (2021). Monopoly in the container shipping market: an econometric approach. *Maritime Business Review*, 7(4), 318-331.
DOI:[10.1108/MABR-12-2020-0071](https://doi.org/10.1108/MABR-12-2020-0071)
インパクトファクター: 3.0 被引用件数: 8
9. ○*Hirata, E., Matsuda, T. (2021). Uncovering the impact of COVID-19 on shipping and logistics. *Maritime Business Review*, 7(4), 305-317.
DOI:[10.1108/MABR-03-2021-0018](https://doi.org/10.1108/MABR-03-2021-0018)
特記事項：Emerald Literati Awards 2023 Outstanding Paper 賞受賞
インパクトファクター: 3.0 被引用件数: 13
10. *Wang, Y., Watanabe, D., Hirata, E., Toriumi, S. (2021). Real-Time Management of Vessel Carbon Dioxide Emissions Based on Automatic Identification System Database Using Deep Learning. *Journal of Marine Science and Engineering*, 9(8), 871.
DOI:[10.3390/jmse9080871](https://doi.org/10.3390/jmse9080871)
インパクトファクター: 2.9 被引用件数: 13
11. *Munim, Z. H., Duru, O., Hirata, E. (2021). Rise, Fall, and Recovery of Blockchains in the Maritime Technology Space, *Journal of Marine Science and Engineering*, 9(3), 266. (国際共著)
DOI:[10.3390/jmse9030266](https://doi.org/10.3390/jmse9030266)
インパクトファクター: 2.9 被引用件数: 26
12. *Kim, H., Watanabe, D., Toriumi, S., Hirata, E. (2021). Spatial Analysis of an Emission Inventory from Liquefied Natural Gas Fleet Based on Automatic Identification System Database, *Sustainability*, 13(3), 1250.
DOI:[10.3390/su13031250](https://doi.org/10.3390/su13031250)
インパクトファクター: 3.9 被引用件数: 12
13. ○平田燕奈 (2021).フィジカルインターネットにおけるブロックチェーン技術の応用性に関する研究, *海事交通研究*, 70, 67-77.
被引用件数: 0
14. ○*Hirata, E., Lambrou, M., Watanabe, D. (2020). Blockchain technology in supply chain management: insights from machine learning algorithms, *Maritime Business Review*, 6(2), 114-128. (国際共著)
DOI:[10.1108/MABR-07-2020-0043](https://doi.org/10.1108/MABR-07-2020-0043)
特記事項：Emerald Literati Awards 2022 Outstanding Paper 賞受賞
インパクトファクター: 3.0 被引用件数: 33
15. *Sakalayan, Q. M. H., Duru, O., Hirata, E. (2020). An econophysics approach to forecast bulk shipbuilding orderbook: an application of Newton's law of gravitation, *Maritime Business Review*, 6(3), 234-255. (国際共著)
DOI:[10.1108/MABR-03-2020-0019](https://doi.org/10.1108/MABR-03-2020-0019)
インパクトファクター: 3.0 被引用件数: 5
16. ○*Hirata, E. (2020). Service recovery and customer satisfaction in container liner shipping industry-an ordered logit approach, *International Journal of Shipping and Transport Logistics*, 12(6), 563-575.
DOI:[10.1504/IJSTL.2020.111116](https://doi.org/10.1504/IJSTL.2020.111116)
インパクトファクター: 1.5 被引用件数: 5

17. ○平田燕奈 (2019). 海運物流分野におけるブロックチェーン技術活用の可能性, 海運経済研究, 53, 61-70.
被引用件数 : 1
 18. ○*Hirata, E. (2019). Service characteristics and customer satisfaction in the container liner shipping industry, Asian Journal of Shipping and Logistics, 35(1), 24-29.
DOI:[10.1016/j.ajsl.2019.03.004](https://doi.org/10.1016/j.ajsl.2019.03.004)
インパクトファクター: 3.1 被引用件数 : 87
 19. ○*Hirata, E. (2018). A non-structural approach to assess competitive conditions in container liner shipping market: 2009-2014, International Journal of Shipping and Transport Logistics, 10(5-6), 500-513.
DOI:[10.1504/IJSTL.2018.095220](https://doi.org/10.1504/IJSTL.2018.095220)
インパクトファクター: 1.5 被引用件数 : 5
 20. ○*Hirata, E. (2017). Contestability of container liner shipping market in alliance era, Asian Journal of Shipping and Logistics, 33(1), 27-32.
DOI:[10.1016/j.ajsl.2017.03.004](https://doi.org/10.1016/j.ajsl.2017.03.004)
インパクトファクター: 3.1 被引用件数 : 73
特記事項 : 21 の拡張版
 21. ○平田燕奈, 村上英樹 (2015). Container Liner Contestability in Alliance Era, 海運経済研究, 49, 42-50.
特記事項 : 日本海運経済学会国際交流賞受賞 (2016 年 10 月)
被引用件数: 3
- (4) 学術論文 (有審査論文: フルペーパー査読・国際会議プロシーディングス)
[著者, 題目, 発表機関, 頁, 発行年月(西暦), DOI]
特記事項 : [Best Presentation 賞の受賞など]
1. ○Naganawa H., Hirata E. (2024). Reinforcement Learning-based Optimization of Logistical Hubs and Routing in the Context of the Physical Internet – A Case Study from Japan. The Proceedings of the 10th International Physical Internet Conference (IPIC2024), pp. 26-35, May, 2024.
DOI: <https://doi.org/10.35090/gatech/11084>
 2. ○長縄尚駿, 平田燕奈, フィジカルインターネットにおける物流拠点の最適立地と配送ルート of の最適化, 土木計画学研究・講演集 68 号, 2023 年 11 月
 3. ○上野大樹, 平田燕奈, 物流倉庫におけるピッキングの最適化, 土木計画学研究・講演集 68 号, 2023 年 11 月
 4. ○□Hirata E., Yamashita T., Ozawa S. (2022), Development of Researcher Network Visualization System by Matrix Researcher2vec - Research DX Initiative at Kobe University. Proceeding of the 30th Symposium on Fuzzy, Artificial Intelligence, Neural Networks and Computational Intelligence, pp. 240-243, September, 2022.
特記事項: 本論文の拡張版は (3) の 4
 5. Watanabe, D., Hirata, E., Lambrou, M. (2022), A Study on Market Forecast of International

Logistics Using Natural Language Processing - Based on A Questionnaire Survey for Major Freight Forwarders in Japan. Proceedings of the International Association of Maritime Economists (2022), pp.2301-2313, September, 2022. (国際共著)

6. ○□Hirata, E., Matsuda, T. (2020), A discussion on how covid-19 impacts shipping and logistics: implications from machine learning perspective, Proceedings of the Asian Logistics Round Table 2020 Conference, pp.751-761, November, 2020.

特記事項:本論文の拡張版は (3) の 5

7. Kim, H., Watanabe, D. Hirata, E., (2019), Analyzing spatial autocorrelation in AIS based LNG emitted bunker consumption, Proceedings of the International Conference on Logistics and Industrial Engineering, pp.1-6, August, 2019.
8. ○□Hirata, E., Murakami, H., (2015), The Effect of Container Liner Shipping on Economic Growth: A Panel Data Analysis, In International Forum on Shipping, Ports and Airports, pp.318-325, November, 2015.

以下、プロシーディングスが発行されないフルペーパー査読学会論文

9. ○□Hirata, E., Li, K. X., Watanabe, D. (2023), Research Topics and Methods in Maritime Decarbonization: A Natural Language Processing Approach. Proceedings of the International Association of Maritime Economists (2023). (国際共著)
10. ○□Hirata, E., Lambrou, M., Watanabe, D. (2021), Similarity Between Digital Platforms – A Machine Learning Approach, Conference of International Association of Maritime Economists (2021). (国際共著)
11. ○□Hirata, E., Lambrou, M., Watanabe, D. (2020), Identifying Trends for Blockchain Application in Supply Chain Using Text Mining, Conference of International Association of Maritime Economists (2020). (国際共著)

特記事項:本論文の拡張版は (3) の 14

12. ○□Hirata, E. (2019), Measuring structure-conduct-performance in the container shipping market, Conference of International Association of Maritime Economists (2019).
13. ○□Hirata, E. (2018), Service characteristics in container liner shipping industry, the 11th International Conference of Asian Shipping and Logistics (2018).

特記事項 : International Conference of Asian Shipping and Logistics, Commended Paper Award. (2018年6月) 本論文の拡張版は (3) の 18

14. ○□Hirata, E. (2017), Service recovery and customer satisfaction in container liner shipping industry, Conference of International Association of Maritime Economists (2017).

特記事項:本論文の拡張版は (3) の 16

15. ○□Hirata, E. (2016), Demand Elasticity and Competitive Conditions in Container Liner Shipping Market, Conference of International Association of Maritime Economists (2016).

特記事項: 本論文の拡張版は (3) の 19

(5) 学術論文（有審査論文：アブストラクト査読・国際会議プロシーディングス）

[著者, 題目, 発表機関, 頁, 発行年月(西暦), DOI]

特記事項: [Best Presentation Award の受賞など]

1. ○□Hirata, E., Matsuda, T. (2022) Decoding Logistics Trend in Japan using SNS Data, Conference of International Association of Maritime Economists (2022), Busan, Korea. September, 2022 (online).
2. ○□Hirata, E., Watanabe D. (2021), When Blockchain Meets Modern Supply Chain – A Blueprint of Future Green Logistics Towards Achievement of The SDGs, International Symposium on Sustainable Logistics, Mersin, Turkey. April, 2021 (online).

(6) 学術論文（無審査論文）

[著者, 題目, 発表機関, 頁, 発行年月(西暦), DOI]

特記事項: [依頼原稿、市販の学術雑誌掲載論文など]

1. 平田燕奈, DX 時代の海運と航空の共通課題と解決策, ていくおふ, No. 173, 2023 年 11 月.
特記事項: 依頼原稿
2. 平田燕奈, SNS データから見るポストコロナ時代の日本物流, 運輸と経済, 82 (8), 2022 年 8 月.
特記事項: 依頼原稿
3. 平田燕奈, ブロックチェーンと港湾電子化: トレードレンズの概要と最新動向, 港湾荷役, Vol.65, No.4, pp.411-416, 2020 年 7 月.
特記事項: 依頼原稿

(7) その他

1. 平田燕奈, ブロックチェーンが切り開く貿易物流「上」「下」, 日本海事新聞, 2019 年 8 月 29 日, 30 日
特記事項: 依頼原稿